

9月18日

おおいたスポーツ広場2010

9月18日、大分トリニータ、大分三好ヴァイセアドラー、バサジィ大分、大分ヒートデビルズなど大分のトップスポーツ選手が大分銀行ドームに集結。県民と選手との交流会やウォーキング教室などを開催。学生も着ぐるみを来てイベントの運営をサポートした。



私は大分のスポーツチームを応援する交流会に参加し、イベントの運営や人を誘導する難しさなどを体験した。当日はスポーツ選手を間近に見られたり、試合観戦もできたりして私自身も楽しむことができた。これからは積極的に参加していきたいと思う。 赤嶺 由香 (1年)

10月9日、10日

第3回 おおいた夢色音楽祭

大分市街地の活性化を目的とするイベント。大分駅周辺の各所で、県内外からの音楽アーティストが集い、演奏を行った。本学の学生はボランティアスタッフとして会場設置や観客誘導、物販、各ステージの進行などを担当。



場を盛り上げるためには どうしたらよいか。そう考えながら臨んだ人生初のMC。言葉で相手に興味を持たせる大変さを知った。2日間手探りで進行をしていたせいか何度も失敗をした。全てが終わった後、疲れと達成感が同時に来た。それがとても心地良かった。 天本 聖菜 (1年)

10月16日

来ちよくれ 竹田研究会との交流

7月に体験した竹田市での農家民泊から派生した交流。芸文短大竹田キャンパスに来ちよくれ竹田研究会のみなさんを招待し、そこで竹田市の魅力を学生ならではの視点で作成したホームページ「たけたみつけた。」の紹介と、学生も農家さんも書き込み可能なブログ講習会を開催。



普段、パソコンを使い慣れていない方にブログの更新を教えるという作業は思った以上に難しかった。しかし、自分たちが生活している竹田市や農家民泊の魅力を伝えたいからと一生懸命覚えようとする姿を見て、私も応援したい気持ちが大きくなった。 中原 綾乃 (1年)

11月6日、7日

第11回 上野の森アートフェスティバル

上野丘の住民が主体となり、大分市美術館周辺で開催されるフェスティバル。本学からの出店は美術科の花瓶づくり、音楽科のコンサート、環境サークルのエコバックづくり、食育サークルのピザカフェ、情報コミュニケーション学科の自然ビンゴなど。



私は森の中にある植物を項目とした自然ビンゴを企画した。一緒に散策し、植物を見つけたらチェック、縦・横・斜めどれかが揃えばビンゴで景品を渡すゲームだ。子供たちが森で遊んだり、物作りに真剣に取り組む姿が印象的だった。来年も活動に参加したいと思う。 佐田 伊都美 (1年)

11月6日

第3回さかのせき 地域発見サイクリング

旧日本鉱業佐賀関鉄道(通称：軽便鉄道)の廃線敷を走るサイクリング大会。主催は大分市。全国的にも珍しいサイクリングトレイン(自転車の列車への持ち込み、移動)が運行され、大分-幸崎間の車中でゲーム企画や現地での引率などを行った。



友人と「ダイエット!」と言いながら自転車を走らせた。だんだん体力も尽き、空腹に差し掛かったところで地元の方から差し入れを頂き復活した。今回、参加者や市役所の方々とコミュニケーションをとることができ、人の温かみ分かる良い体験となった。 笠村 純 (1年)

11月12日~14日

第1回 長湯温泉 日韓短編映画祭

竹田市と大分県立芸術文化短期大学は「相互協定」書を締結しており、地域振興イベントの第一弾として、竹田市観光ツーリズム協会と、同大学、地域住民が実行委員となり、共同で企画された映画祭。学生と地域、日韓映画関係者との交流による地域活性化推進が目的。



スタッフとして、色んな体験をした。多くの映画関係者のお話を聞くことも、韓国の映画をたくさん見ることもあまりできないことだ。スタッフとして映画祭を支えつつ、触れられたのはとても幸運だった。次回も、映画祭を運営する立場で参加したいと思う。 山下 崑世 (1年)

11月13日、14日

第30回記念 大分国際車いすマラソン大会

昭和56年の国際障害者年を記念して始まった大分国際車いすマラソン大会。今年で30回を迎える。本学の学生は国内各地から参加する選手のサポート等を行うボランティアと、当日の大会を記録する撮影スタッフとして参加。



30回大会は皇太子殿下をお迎えして午前11時にスタート。私たちは、42台のカメラで記録するプロジェクトに総勢60名で取り組んだ。平均時速30kmというハイスピード競技を始めて観戦、そのスピード感を映像で再現することはそれ自体とても貴重な経験だった。橋口 みさき (1年)

11月27日 12月4日、11日、18日、19日

スローライフ講座(全5回)

芸短フェスタの一環で本学にて公開講座として全5回開催(12月18日、19日は竹田キャンパスにて実施)。講師は竹田市で加工所や農家民泊を営まれている方々。講座企画や司会進行を学生が担当。生活の中心にある食を軸に、ゆったりと過ごすライフスタイルの最前線を学んだ。



講師の方から教わったことは、スローライフは少しの工夫で取り入れることができるということだ。体を気遣うことを忘れがちな学生にとって、いい刺激になったのではないだろうか。多くの方の協力があったからこそ成功し、私たちも大きく成長できたと思う。 西 由紀子 (2年)

12月6日

竹田食の円卓会議

竹田市総合社会福祉センターを会場に生産者・製造者・消費者等が一堂に会し、「食」の安全安心な取り組みの情報共有と相互理解を深める会議(大分県主催)。本学からも学生代表2名が「農家民泊の情報を楽しんで発信」をテーマにこれまでの活動を発表した。



竹田市のイベントなどに実際に参加し魅力を感じたことを情報発信していこう、と考えたことが始まりである。それを地域の皆さんに発表できたことを大変嬉しく思う。一過性のものでなく継続した活動を、学生だけでなく地域の方とともにできたら考える。 谷口 未樹 (2年)

12月21日

芸文短大キャンドルナイト

本学にて毎年開催する環境イベント。テーマは「環境問題や地球で暮らす全ての人々について考え、見つけ直してみよう」。今年は新たに環境や貧困などの実情を追及したドキュメンタリー映画の上映やキャンドル演出に竹葉で使った竹灯籠を起用した。



初めて参加したキャンドルナイト。環境サークルとして企画に携わり、環境に関する映画の紹介をした。私たちの発表を通して、環境について考え直す良いきっかけとなればと思い、一人ひとり真剣に取り組んだ。この想いが皆に伝わっていれば幸いである。 相馬 志織 (1年)



※各サービスマーケティングの写真と、コメントの学生は同一ではない場合があります。